

日本一の切れ味か？

はさみで幸村イメージ

ニッケン刃物

関市の刃物メーカー「ニッケン刃物」が、日本刀を模した事務用はさみのシリーズに、戦国武将の真田幸村をイメージしたモデルを登場させた。

刃文や拵がデザインされた同シリーズは、昨年五月の発売以来、刀剣女子や外国人の人氣を集め、二万一千本以上を販売。「おみやげグランプリ201

6」(ふるさと祭り東京実行委員会主催)のグッズ・ノベルティ部門でグランプリを獲得した。

幸村モデルは昨年十月発売の信長モデルに続く武将シリーズの第二弾。愛用したとされる「村正」をイメージし、赤を基調に、真田家の家紋「六文銭」などが入る。

販売中の通常版(二千七百円前後)に加え、三月には持ち手や鞘に越前塗りを施した

プレミアムモデルを、四月には十文字やり型のペーパーナイフを発売する。プレミアムは飾り用の台やびょうぶ付きで一萬五千円前後、ペーパーナイフは千二百円前後の予定。

ニッケン刃物 0575(24)0161 (織田龍穂)



真田幸村モデルの日本刀はさみ(金がアルミニウムモデル)とやり型のペーパーナイフ(手前) 関市東貨上のニッケン刃物で